

令和4年台風15号に伴う避難行動アンケート集計結果（概要）

令和4年9月23日から24日にかけて、台風15号の影響を受けた降雨により、市内各地での河川水位の上昇（敷地川での越水）や市内各地での道路冠水、床上浸水や床下浸水が発生した。

袋井市では9月23日（金）、市内河川からの越水を確認したため、警戒レベル4「避難指示」を市内全域に発令し、23時45分、敷地川（笠梅橋）の水位が氾濫危険水位に達したため、三川地区・今井地区の全住民（6,903人・2,682世帯）を対象に、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令した。

発令に伴い、メローねっとや同報無線に加え、緊急速報メール（エリアメールなど）により情報発信した。

市が発令した情報の受け取り状況や気象情報などの入手先、情報を得たことによる行動、などを分析するため、アンケート調査を実施した。

1 回答期間

- ・令和4年10月23日～令和4年12月8日

2 対象（凡例：「★」＝電子による回答、「●」＝紙による回答）

- (1)-1 全域/メローねっと※1登録者（約24,000人・アドレス・アカウント）★
- (1)-2 全域/コミュニティセンターライン※2登録者（約8,100アカウント）★
- (2)-1 三川地区住民（配布数約1,500枚）★●
- (2)-2 今井地区住民（配布数約1,900枚）★●

3 設問数

- ・全15問（選択式（14問）、記述式（1問））

4 媒体回答数

媒体	回答数	比率
電子	1,550	63.7%
紙	884	36.3%
計	2,434	

※1)「メローねっと」とは……

災害時の市からのお知らせや各種気象災害情報、同報無線の放送内容など、市民の皆さんの生活に役立つ様々な情報をメールやLINE（ライン）で受け取ることができる、市の情報配信サービス。

※2)「コミュニティセンターライン」とは……

市内14コミュニティセンターからの情報や地域の情報をLINE（ライン）により配信するサービス。

5 回収率

地区	電子	紙	電子+紙	配布数	回収率
全域	1,218	0	1,218	32,100	3.8%
三川	171	371	542	1,500	36.1%
今井	161	513	674	1,900	35.5%
計	1,550	884	2,434	35,500	6.9%

6 設問に対する回答の概要

問1 お住まいの地区を教えてください（選択式・記述式）

全体の回答に占める地区別割合は、今井地区（30.3%）、三川地区（25.1%）、袋井北地区（5.9%）の順で高かった。

人口における回答率が高い自治会連合会は、全戸配布した三川地区（21.6%）・今井地区（18.1%）に次いで、浅羽西（1.9%）、方丈（1.7%）、豊沢（1.7%）、袋井西（1.7%）の順であった。

世帯における回答率が高い自治会連合会は、全戸配布した三川地区（61.1%）・今井地区（43.5%）に次いで、浅羽西（4.9%）、豊沢（4.5%）、笠原（4.3%）の順であった。

問2 年齢を教えてください（選択式）

年代別割合では、40才以上49才以下、50才以上59才以下、60才以上69才以下の年代の方は、いずれも20%以上となっており、40才以上69才以下の方が、全体の約68%を占めている。70才以上の方が約19%で、20才以上29才以下の約2%より高かった。

項目	回答数
・ 19才以下……………	14
・ 20才以上29才以下……	39
・ 30才以上39才以下……	277
・ 40才以上49才以下……	495
・ 50才以上59才以下……	505
・ 60才以上69才以下……	635
・ 70才以上……………	450
・ 未回答……………	19
計	2,434

問3 性別を教えてください（選択式）

「男性」が約53%、「女性」が約43%、「答えたくない」が約2%であった。

電子による回答は「男性」よりも「女性」のほうが高い結果であった。

問4 お住まいの建物の形態を教えてください（選択式）複数回答あり

「一戸建て（2階建て）」が約78%と最も高い割合であった。

2階建て以上の建物に住んでいる方は全体の約84%であった。

項目	回答数
・一戸建て（1階建て）	370
・一戸建て（2階建て）	1,913
・一戸建て（3階建て）	18
・アパート等共同住宅（1階建て）	6
・アパート等共同住宅（2階建て以上）	125
・その他	7
・未回答	6
計	2,445

問5 家族形態を教えてください（選択式）複数回答あり

「親子二世代」が約52%、「夫婦のみ」が約22%、「三世代同居」が約15%、「単身世帯」が約10%であった。

項目	回答数
・単身世帯	229
・夫婦のみ	529
・親子二世代	1,256
・三世代同居	357
・その他	57
・未回答	7
計	2,435

問6 あなた、または、同居家族に次の方はいますか【複数回答可】（選択式）

「いない」が約56%、「75歳以上」の方が約25%、「乳幼児・未就学児（0～6歳）」が約13%、「介護や介助が必要な方」が約7%であった。

「75歳以上」がいる方で、「単身世帯」または「夫婦のみ」のいずれかの世帯は、全体の約10%であった。同じく、「介護や介助が必要な方」がいる方で、「単身世帯」または「夫婦のみ」のいずれかの世帯は、全体の約10%であった。

項目	回答数
・乳幼児・未就学児（0～6歳）	314
・介護や介助が必要な方	174
・75歳以上の方	622
・いない	1,392
計	2,502

問7 住んでいる場所から近い川を教えてください（選択式）複数回答あり

主な河川への回答は2,501件あった。そのうち河川名が「分からない」138件（約6%）あった。「太田川」が815件（約33%）、「敷地川」が431件（約17%）、「原野谷川」が305件（約12%）、「蟹田川」が191件（約8%）、「宇刈川」が191件（約8%）であった。

問8 9月23日の避難情報を、どこで知りましたか【複数回答可】（選択式）

避難情報は、「スマートフォンの防災アプリ、ツイッターやライン、フェイスブック等のSNSや、静岡県や気象庁等の公式サイト（スマホやホームページ）」で知った方が最も多かった。また、「テレビやラジオ」と「袋井市の同報無線」で知った方の割合は同程度であった。

全回答者（2,434人）における項目別回答率は、「スマートフォンの防災アプリ、ツイッターやライン、フェイスブック等のSNSや、静岡県や気象庁等の公式サイト（スマホやホームページ）」が約47%、「袋井市メローねっと」が約

項目	回答数
・ 知らなかった	153
・ テレビやラジオ	658
・ スマートフォンの防災アプリ、ツイッターやライン、フェイスブック等のSNSや静岡県や気象庁等の公式サイト	1,144
・ 袋井市メローねっと	897
・ 袋井市のツイッターやフェイスブック、ホームページ	79
・ 袋井市の同報無線	572
・ 消防団の広報車	24
・ 知り合いからの電話や近所からの声掛け・自治会等の連絡網	101
・ 覚えていない	45
計	3,673

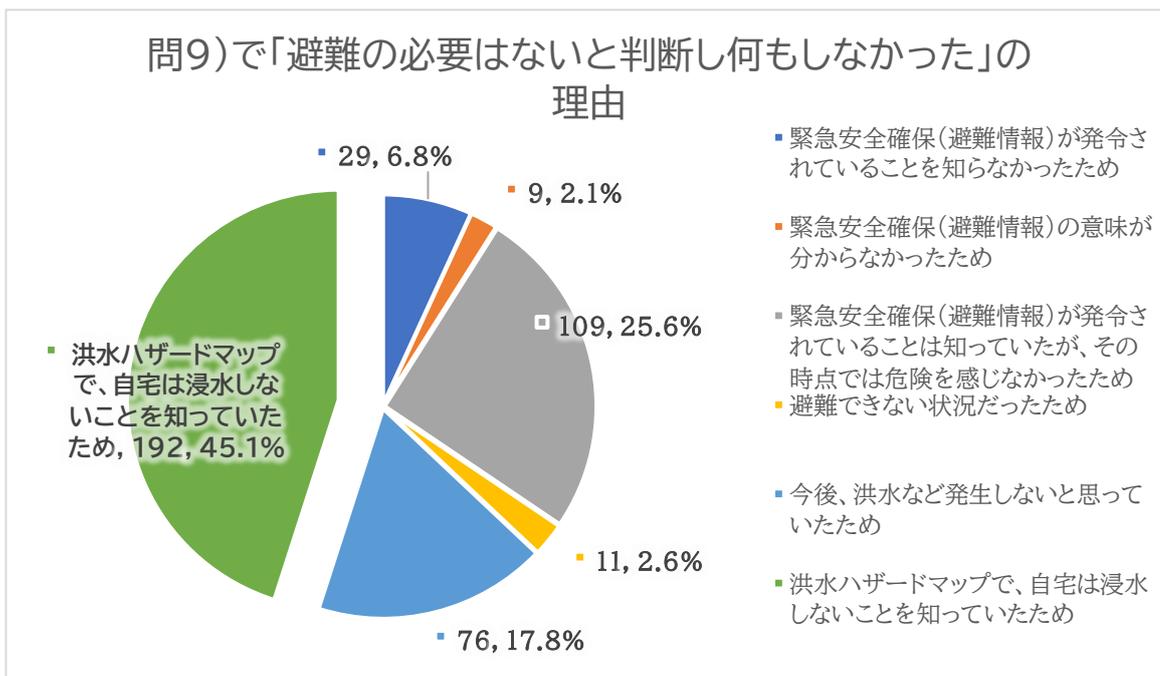
37%、「テレビやラジオ」が約27%、「袋井市の同報無線」が約23%、「知らなかった」が約6%、「知り合いからの電話や近所からの声掛け・自治会等の連絡網」が約4%、「袋井市のツイッターやフェイスブック、ホームページ」が約3%、「消防団の広報車」が約1%の順であった。

問9 台風15号接近に伴いどのような避難行動をとりましたか（選択式）

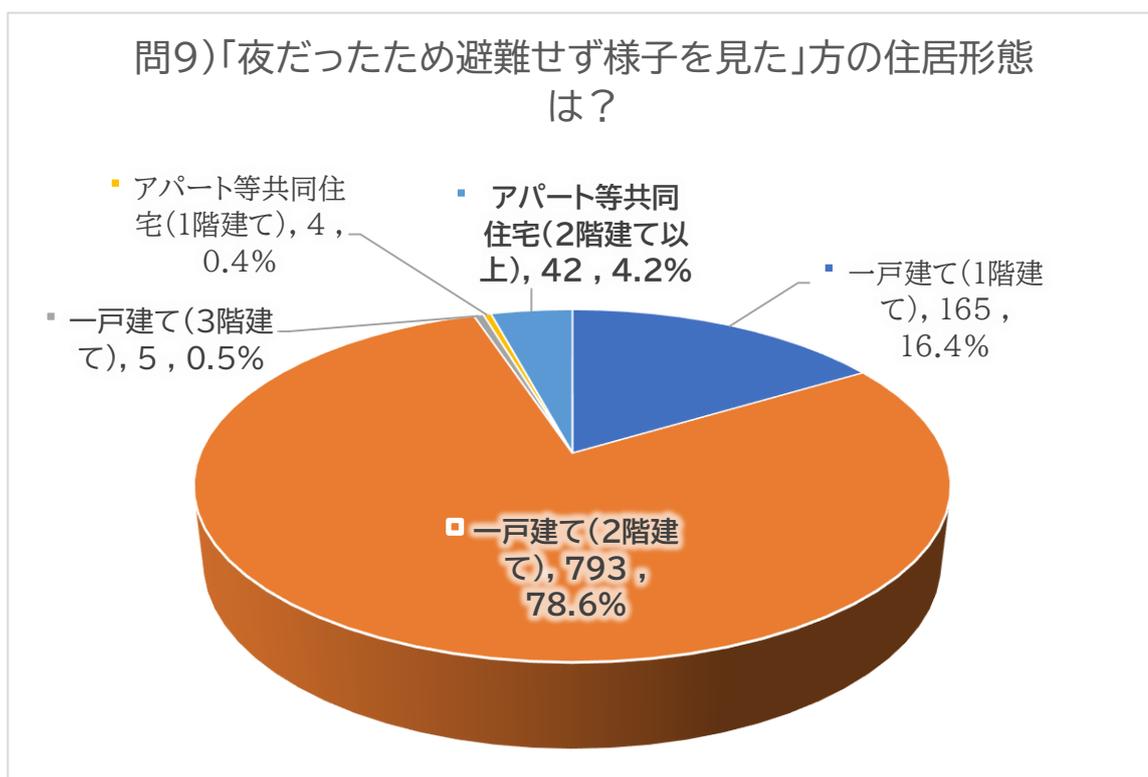
「夜だったため避難せず様子を見た」が約41%、「避難の必要はないと判断し何もしなかった」が約23%、「①自宅の2階等の高い場所に避難した」が約20%、「②いつでも避難できるように準備した」が約10%、「③親戚や知人の家等に避難した」が約1%、「外出等のため不在だった（自宅以外の場所に居た）」が約5%、「④市指定避難所に避難した」が約1%であった。

（①～④）何らかの避難に関する行動をとった方は約31%で、そのうち（①③④）水平避難や垂直避難した方は、約21%であった。

項目	回答数
・ 外出等のため不在だった（自宅以外の場所に居た）	133
・ 市指定避難所に避難した	17
・ 自宅の2階等の高い場所に避難した	488
・ 親戚や知人の家等に避難した	23
・ いつでも避難できるように準備した	244
・ 夜だったため避難せず様子を見た	1,034
・ 避難の必要はないと判断し何もしなかった	566
計	2,505



「避難の必要はないと判断し何もしなかった」方の理由では、「ハザードマップを確認していたため」が、約45%と最も多かった。



「夜だったため避難せず様子を見た」方の住居形態については、約83%の方が2階建て以上の建物に住んでいた。

問10 避難行動をとったきっかけは何ですか【複数回答可】（選択式）

「①袋井市からの情報（同報無線、メール・ライン・ホームページなど）」が約24%、「②スマホアプリやインターネットからの避難情報」が約22%、「③スマホやインターネットからの水位情報」が約18%、「テレビやラジオからの情報」が約18%、「周囲の異変を感じた」が約9%、「友人知人からの情報」が約5%、「自治会等からの情報」が約3%、「消防団からの情報」が約1%、「覚えていない」が約1%であった。

①～③に関しては、メロ一ねつとを利用したアンケート調査だったこともあり、スマホやメールから避難情報を得ている人の割合が、約64%と高かった。

項目	回答数
・ テレビやラジオからの情報	194
・ スマホアプリやインターネットからの避難情報	240
・ スマホやインターネットからの水位情報	195
・ 袋井市からの情報 （同報無線、メール・ライン・ホームページなど）	257
・ 消防団からの情報	9
・ 友人知人からの情報	55
・ 自治会等からの情報	34
・ 周囲の異変を感じた	97
・ 覚えていない	6
計	1,087

問11 警戒レベルを用いた避難情報について教えてください（選択式）

「知らない（聞いたことがない）」が約3%、「①聞いたことはある（内容はよくわからない）」が約23%、「②知っている（5段階に分かれている）」が約57%、「③理解している（レベルごとのとるべき避難行動など）」が約17%であった。

項目	回答数
・ 知らない （聞いたことがない）	70
・ 聞いたことはある （内容はよくわからない）	519
・ 知っている （5段階に分かれている）	1,268
・ 理解している （レベルごとのとるべき避難行動など）	389
計	2,266

約97%（①～③）が警戒レベルも用いた避難情報について認知している。「知らない（聞いたことがない）」と回答した方は、電子による回答者より紙による回答者に多かった。

問12 (問9)で「避難の必要はないと判断し何もしなかった」の理由【複数回答可】(選択式)

「①洪水ハザードマップで、自宅は浸水しないことを知っていたため」が約45%、「②緊急安全確保(避難情報)が発令されていることは知っていたが、その時点では危険を感じなかったため」が約26%、「③今後、洪水など発生しないと思っていたため」が約18%、「緊急安全確保(避難情報)が発令されていることを知らなかったため」が約7%、「避難できない状況だったため」が約3%、「緊急安全確保(避難情報)の意味が分からなかったため」が約2%であった。

問13 日頃の降雨に対する備えについて教えてください【複数回答可】(選択式)

「家庭で食品(飲料水を含む)等を備蓄している」を実施している回答者が最も多く、次いで、「防災訓練等の防災活動に参加している」、「自分の住んでいる地域の洪水ハザードマップを知っている」の順であった。

項目	回答数
・自分の住んでいる地域の洪水時の避難先を知っている……………	1,062
・自分の住んでいる地域の洪水ハザードマップを知っている……………	1,174
・非常持ち出し品等(携帯充電器等を含む)を準備している……………	1,085
・家庭で食品(飲料水を含む)等を備蓄している……………	1,371
・家族との連絡方法を確認している……………	548
・土砂災害警戒区域等の指定を受けているかどうか知っている……………	399
・近所の人と情報交換をしている……………	217
・防災訓練等の防災活動に参加している……………	1,224
・特にな……………	84
計	7,269

「特にな」を除く8項目すべてを実施している回答者は、全回答者(2,434人)中、33人(約1%)であった。2項目実施している回答者が最も多く、500人(約20%)であった。

問14 今後の降雨に備えて、やっておきたいことを教えてください【複数回答可】（選択式）

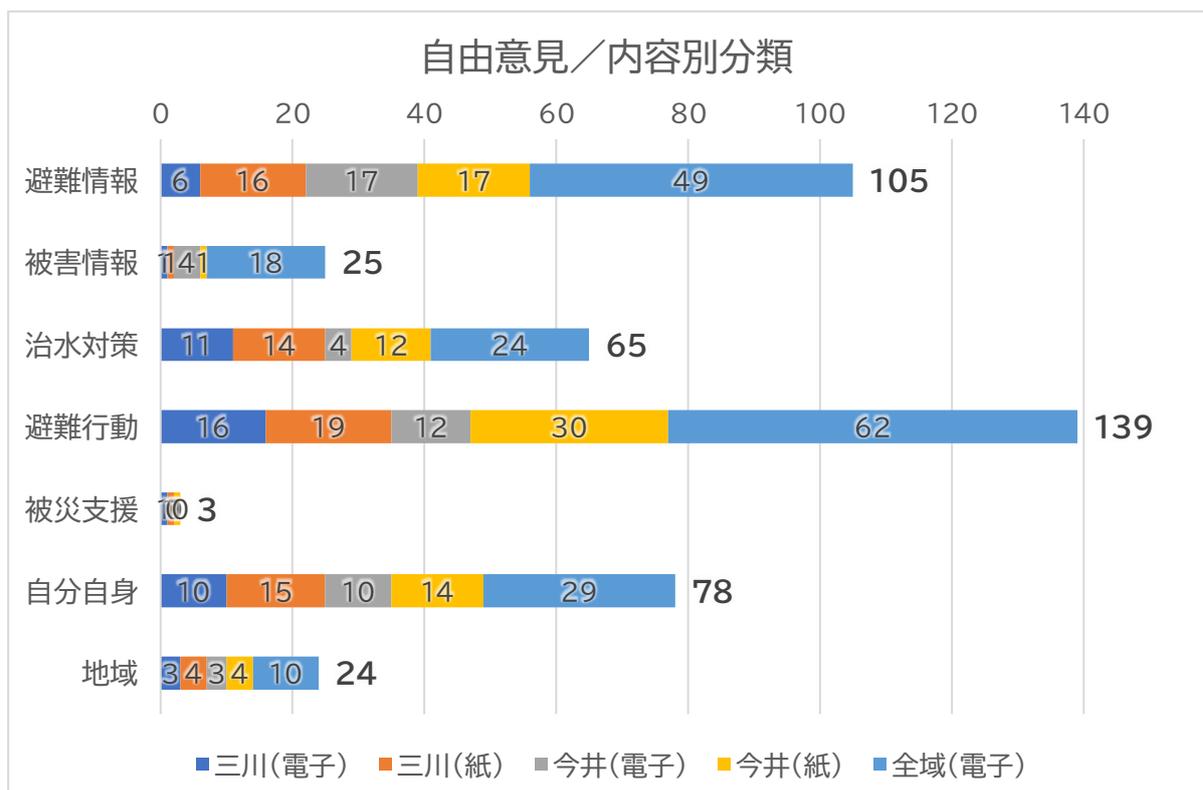
全回答数（6,933）に占める項目別回答割合は、「避難するタイミングを確認する」が約17%、「非常持ち出し品を確認する」が約17%、「家族との連絡方法を確認する」が約14%、「家族と避難について話し合う」が約13%、「洪水ハザードマップを確認する」が約13%、「避難先を確認する」が約12%であった。

項目	回答数
・洪水ハザードマップを確認する……………	879
・避難先を確認する……………	840
・避難するタイミングを確認する……………	1,177
・非常持ち出し品を確認する……………	1,207
・家族との連絡方法を確認する……………	979
・家族と避難について話し合う……………	922
・近所の人と話をしてみる……………	419
・自主防災隊の活動に参加する……………	396
・特になし……………	114
計	6,933

問15 自由意見

「自身の水害対策」・「地域で出来る水害対策」への考えや「避難情報の取得」・「水害時の避難先」・「事前の準備」などを適切に行うことで、不安や疑問が解消される意見や感想もあった。

また、「河川などの水位の上昇」「道路冠水」「自宅敷地内への浸水」などハード整備による改善などの意見や感想があった。



問15 自由意見（主な内容）

【自助／共助】

- ・自分の命は自分で守ることを再確認した。
- ・家族と自宅周辺の危険箇所を確認し、避難のルールを決めたい。
- ・夜間での避難は危険。自宅2階への垂直避難をした。
- ・50年に一度ではなく、災害への備えは日常から意識したい。
- ・地域やPTAなどで洪水ハザードマップを確認していたことが役に立った。
- ・河川が氾濫しそうで、本当に怖かった。いつもとは違う状況だった。
- ・地域内に浸水と土砂災害が発生した。地域として取り組めることを考えたい。

【情報】

- ・今回の台風は想像以上に雨が激しく降った。
- ・避難指示等の避難情報を待たずに避難することが必要。
- ・情報は自ら取りに行く。
- ・避難するタイミングは難しい。
- ・継続的な防災訓練が必要。
- ・親戚知人の自宅に被害がないか心配だった。
- ・地域で助け合うことに取り組むことが必要。
- ・道路冠水などの情報を知らせてほしい。
- ・夜間の車での走行は危険を感じる。

【避難所】

- ・ペットが心配です。
- ・具体的な情報でない、大まかな情報だけでは避難するきっかけになりにくい。
- ・高い場所に避難することを決めていたが、避難できる状況ではなかった。
- ・障がい者や高齢者などが安心して避難できる場所がほしい。
- ・市指定避難所への避難より自宅での避難を選択している。
- ・市指定避難所には全市民は避難できない。
- ・自宅が平屋で避難所までは遠い。
- ・居住区域外の市指定避難所に避難して良いのか分からなかった。
- ・市指定避難所が密集状態になっているのか分かるとよい。
- ・指定避難所をもっと多く開設してほしい。
- ・避難する場所は市役所で決めてほしい。

【周知】

- ・メローねっとで情報が得られて助かった。
- ・メローねっとでの情報が多く、取捨選択が必要だと思った。
- ・消防団車両による巡回広報が必要。
- ・雨音で同報無線は聞こえない。
- ・同報無線の音声放送よりはサイレン音のほうが聞こえやすいと思う。
- ・河川へのライブカメラの設置が必要。

【河川／公助】

- ・河川の堆積土砂を撤去してほしい。
- ・氾濫しない河川にしてほしい。
- ・被害状況を見える化してほしい。
- ・災害対応など市役所や行政の皆さんの感謝している。より一層の治水対策に期待している。